

特別展

生誕100年

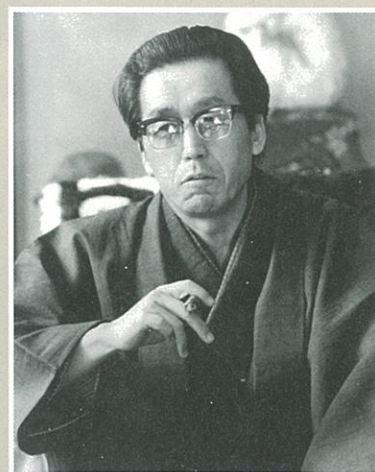
柴田錬三郎展

2017年11月7日 火

2018年2月4日 日

本年は、時代小説のヒーロー—眠狂四郎の生みの親、柴田錬三郎の生誕100年にあたります。大正6年(1917)、瀬戸内海に臨む岡山県邑久郡鶴山村(現・備前市鶴海)に生まれ、鶴山尋常小学校(現・東鶴山小学校)、旧制岡山県立第二中学校(現・岡山県立岡山操山高等学校)に進学、慶応義塾大学予科に入学するまでを岡山で過ごしました。その後、「イエスの裔」で直木賞受賞、「眠狂四郎無頼控」の発表で一躍人気を不動のものとなりました。

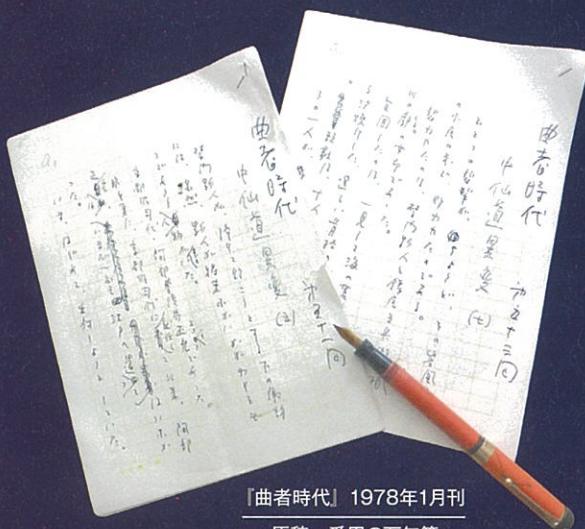
本展では、自筆原稿や初版本、作品が発表・連載された各週刊誌をはじめ、公開される機会の少ない書画、映画関連資料により、多角的に柴錬文学の足跡を回顧し、併せて故郷・岡山を物語に織り込んだ「図々しい奴」他、随筆等により、故郷への思いと人間的魅力を探ります。



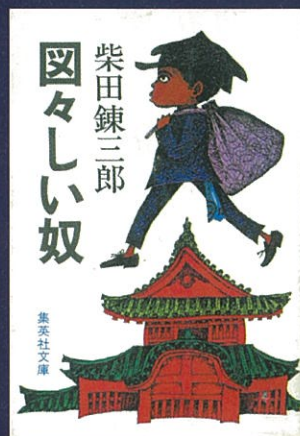
柴田錬三郎 (集英社提供)



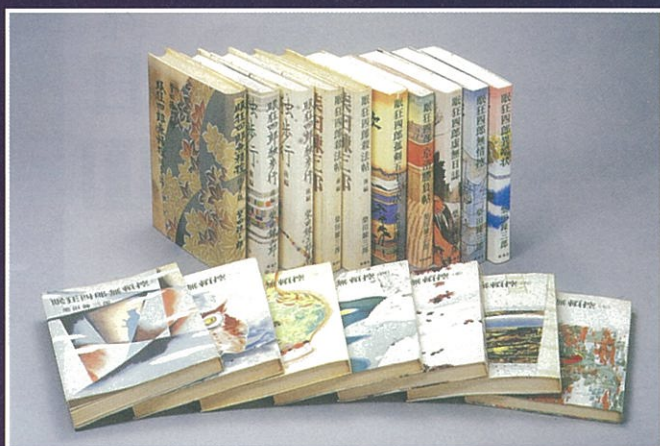
『イエスの裔』
1952年4月/文藝春秋新社刊



『曲者時代』1978年1月刊
原稿、愛用の万年筆



『図々しい奴』
1979年1月/集英社刊
後樂園、東山の峠、烏城、天満屋デパート、一中、六高など岡山がふんだんに出てくる物語。



『眠狂四郎』シリーズ/新潮社、広済堂出版刊

がっさんさたかす
◆月山貞一の短刀
『名人』(1963年7月/光風社刊)より
「相伝の鍛法をもって名のあるのは、月山貞一だけであった。」



柴田錬三郎文学碑 (備前市鶴海)

併催〈企画展〉

吉備路の作家と時代小説11人展

行友李風	本山荻舟	吉川英治	土師清二
横溝正史	南條三郎	藤原審爾	吉行淳之介
南原幹雄	あさのあつこ	原田マハ	

吉備路文学館

KIBIJI LITERARY MUSEUM